

This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare
Books and Special Collections] and is to be used solely for
research or private study.

VII. A 4

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

1/3

田
中
一
郎

田中一
郎

田中一
郎
會
史

一九〇六—一九四二年

21

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

44
44

日本農林学会

先の三ツカダアノ紙ト
ルとすしハ別衣本お可
在ル必要はないと思
今ハ返して改しませう
お家兄

堀
19

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

日玄不與村入

10X20

1
4
4

日本農村会

農 村 聯 合 協 議 會	一 九 二 〇
一 不 一 日 本 語 學 校	
一 不 一 日 本 青 年 會 創 立	一 九 二 三
一 不 一 農 會 ホ ル 新 築	一 九 二 六
P 、 丁 、 月 運 動	一 九 二 七
一 不 一 幼 稚 園	全 年 中
排 日 輿 論 と 我 ら	全 年
日 自 懇 談 會	一 九 三 〇
井 上 次 郎 氏 の 忠 告	一 九 三 一
農 村 協 會	一 九 三 三

10x20

2

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

FOLDER NO.
6-16

10X20

3

44
44

日本郵政

日本	公	通	公	社	の	米	加	女	教	師	招	待	一	九	三	七
サ	ス	カ	4	ワ	2	干	随	救	済				全	丸		
ハ	ネ	1	温	室	業	者							全			
一	九	三	九	年	・	日	本	二	千	六	百	年	奉	祝	演	芸
会																

10x20

44

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
廿
廿

日本農村史

序

へネー農会の歳録の中に、一九四〇年即ち昭和十五年の歳録に、
ネー農会歴史を編集する事が決議され、その当時の語学校長、有賀千代吉氏と私との編集を依頼された。その後、記録には、農会の財政が豊かになり、延期されることにあつて、いゝなり私も有賀君も、その事は全然忘れてしまつていたのが、事実である。偶々古老が集まつて昔話に既往を懐かし

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

2

む時、へネーには他村と比べて多くの特殊性
のあるものに気づく。第一に毎年の始祖、井上
氏が大学出で、民族的に高遠な理想をもつた
指導者であり、またその揮下に集った人々に
も、中等教育を受けれた者が多かった事、臨
て農村社会生活や産業上の指導方針など改良
を要する諸運動が、いふネーから出ていた事、井
上氏の没後、立教大学出の有賀千代吉氏を
語学校長に迎えた、確固不動の二世指導方針を
樹立した事。これ等の指導者達の滅死的な指

日本農村史

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

3

導の手が、ヘネーから他の同胞在住の各農村
に伸びていた事實は他村の旧指導者達と共に
認める所であらう。即ちビーシー州に於ける
日本人苗産業が、うぶ声を響かした誕生の地で
あり、産業上に於ても組織販売の先頭であり
、農業組合運動の策源地であり、排日土地法
案の協議会に上程されるや率先してその撲滅
のために闘つた数々の思出や。ビーシー州の
移民地生活華やかありし頃の、謂所移民地元
録時代の出来事の間で、一九二二年の総
選挙直前の十二、三

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
二
三
四
五

4

移動と共に一気には霧消して去った。その昔を懐
かしむ古老も、相繼いで地上を去る今日、せ
めて農村生活の在りし姿の輪郭だけでも書き
残こし、日本民族海外発展記録の一環とした
い念願から思ひたち、総移動当時の農会長、
広済興荘、幹事堀内芳太郎西氏の快諾を得て
農会の諸記録を借用し、それを基礎とし、ウ
ッドウオレス著「カナダと東洋」の「カナダの
本語学校教育史」及びその当時の記録文書
などを参考した。但し農会創立前の十二、三

日本農村史

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
五
五

日本移民

日本農村

5

年間の記録が無いので、その間の出来事は、
 古老の思ひ出や、記憶を綜合して書いたもの
 である。記事は出来るだけ年代順に収録し
 、参考資料は附録とし、移民地の農村生活の
 社会、産業、経済、教育の一般を網羅し、フ
 レサ、沿岸日本人農村生活のモデルにした。
 二十五年後の今日、既往を省みて四十余年前に
 、農令々則として定めた日本人農村の指導方
 針に、此の矛盾あるを見ず。特に排日土地法
 と闘った運動は、全日本人農家が協力して日

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
 NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
 Rare Books & Special Collections and University Archives
 The University of British Columbia

一
二
三
四
五
六

日本
綴
氏

日本
綴
氏

6

、自農家の協同販売機構を完成する事によつて排日法を必要とし撤廃せしめたいので、本書を一読すれば。日本人毎農業の一般の概畧がつかめたいと思う。

戦後ビシーに度り、毎農業を始められたい日系一世及びその子孫のためのよき参考資料と信ずる。(未完)

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

日本書紀

あつたので、米玉にいて漁撈をしてゐる中、
 一八八六年（明治十九年）大風でカシノのフ
 レサ河口に吹き戻された。その時ウエストミ
 ヲスターには、日本人が五人鯨とりをしてい
 た。永野はシャトルに引き返し、商売を始め
 たが、一八九一年日本に帰つた。彼は日本に
 は居たが、その翌年郷里を罷が出し、再
 渡航してビクトリアに来て一八九九年同地で
 店を開いた。同年彼れはビクトリアで最初の
 鯨の塩漬けを始めた。一八九八年（明治廿一
 年）

②

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
 NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
 Rare Books & Special Collections and University Archives
 The University of British Columbia

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

日本系農村

年)に彼等は日本に帰つて妻女を連れて
トリヤに居り、そこに永住の居を定めた。
明治十七年(一八八四)以降日本からカナ
ダへの移民は、漸次増加し始めた。一八八九年
神戶移民会社の年で、カナダの炭坑へ
、廿四名の契約移民が来た。そしてその翌年
多数の契約移民がカナダの炭坑にや
つて来た。この人達は皆若年の男ばかりで、日本
女性の渡航は一九〇七年以前は不詳であるが
、在ったとしても極少数であつたであらう。

(3)

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
廿
二

日系農村入

その頃の男子移民の平均年齢が二十才を
あふれた。その見ても、妻帯者は殆ど無かつた。あ
ういふ二人達が金を溜めて、家賃結婚で妻を
呼ぶやうになつた。最古が一九一二年の平均
一年三、五人入加した。一九一八年に出来
た日、加間のレニ、協約で、日中からの移
民は一年四百人、妻子を含むが、あつたの
が、一九二八年に妻子を含めて一年百五十名
に減らされた。ともあれ、この日本
移民の最初の職場は鮭とりで、世界的有名な
(14)

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

1. 10

日系不農山村入

フレッチ川の鮭場には一八八〇年代から、シヤ
トルの日本人が出稼ぎに来ていた。鮭場以外
は一八九〇年代、パシフィックのヘステレグ製
材所に日本人が六十、七十人渡航し、一九〇
五、八年の間には、ハワイからの輪航した集団
移民が臈到し、排日運動に油をかけたのであ
った。このころ、シヤトルには、板洞地

5

一
廿
四

日本農村入

日本人の農村入り
一九三〇年頃、山口県人、家本万吉という青
年が、フレサ河の上流廿五哩のピコトメド
一村の白人農家に雇はれて来たのが、フレサ
一流域の農村に日本人が足跡を印した最初と
された。この同年に滋賀県人藤野榮吉氏が
製材所働きとして入りに入り、後同地
で専ら農業の専分を引つた。その頃、苗を作
っていた者は、モロドに白人が二人いた。苗の
収穫期には日本人が来たり、人々という評判を

①

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
七
二
八

マキ（万吉の愛称）に頼んで彼れの知人を
 呼ぶ者、マキをたより仕事探しに来る者が段
 々増した。彼等は殆ど全部山口県人であつた
 の。四、五年後にはハモレド村の野原のシヤ
 ン道路に沿うて、已に墾地を五英加つて借地
 して、杉の割板で堀立小屋を作り、ポテトやア
 ニスなどを作りながら白人農家の拾ひ仕
 事をする者が増えた。この頃の事を日本人間
 では俗に山口村と呼ぶ。ハモレドの東
 隣へハモレド村に十九の五年頃、熊本県人東濱次

(2)

花
山
山
山

、松下辰次両氏が借地して、ストロベリー作
りを始めた。その翌年佐賀県人と早稲田大学
地耕出の井上次郎氏が、二十英加を購入して
永住の目的で苺農業を始めた。これがビーン
・町に於ける地主農の始め、且つ日本人苺産
業の始祖としての一歩を踏み出したのである
。つた、一九〇七年、バンクーバーに「ソノバワ」
ル街騒動という排日暴動が起こった。井上氏は
排日根本対策として、日本日本人は排斥の多い
普通労働者よりも、排日の多い盛かむ将来有望

③

一
七
七

ち、母産業に轉向すべしと論じつ余輩の計算に
 依れば十年計画を農業に健全に經營すれば、
 純益一萬弗は疑うの余地なしと盛んに印字
 新書に書き立てた。この記を讀んで集る連
 中には、学生、商人、漢者、床屋、百姓等あ
 らゆる階級の人々を、唯一つ共通の矢は誰も
 農業資本をいふ事と、十年後に一萬弗握り
 たい事とあつた。彼等の持ち物は、柳行季と
 、健康と張り切つた腹体だけであつた。井上
 氏はこれらの人々を包みこみ、借地の斡旋、食

④

一
七
七
八

家の荒山を五エーカーを七年間を賃で借りる
るものだが、頗る馬鹿なもので、普通白人農
井上氏も呆れていた。開拓当時の借地条件が
いいうちのほとんどうして使いたすかねーに
の経験に更らにあり、一井上さんマテキとか
口の代りうイロテリ青年もいた。彼は筋肉労働
ヤトルの日本人会の書記長を永らく勤めた。関
、住万端の世話された。その中には後年シ
一丸の三井礦山で採掘
日本人の農村入り

①

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
Rare Books & Special Collections and University Archives
The University of British Columbia

一
七
七
七

。それを開墾して苗を植え収穫しただけが借
地人の収入であるが、生活費の用意の多い者
ばかりで、夏は漁場や山ゆきに出かけ冬は
米代を稼ぎ、冬に帰って開墾するのであるか
ら、七年はいつのまにかたち、半分くらいは
開墾したまま返す。この馬鹿らしさを悟って
、夏に稼いだ金で五、十エーカーを年賦で買う
ようになつた。一エーカー（四反二畝）が場
所に依つて五十弗から百弗、四分の一現金払
ひで残りは三、四年払い、利子年六歩が普通
②

一
七
七
八

であつた。それで荒山の借地はあふあり、地
 主農ばかりにあつた。創業時代の移入殖者が
 家を建て、井戸を掘り、新小屋を建てる場合
 、先住日本人は全部、大工並と辨当をもつ
 て手伝ひに行くのが不文律にあつてゐた。そ
 れに依つてお互ひの親しみを増し、相互扶助
 を実行したのである。借地の場合は、家を建
 てるにしろ、一時凌ぎの假小屋で、窓と針を
 買うだけで、壁紙屋根も全部割板で、木に合せ
 床板はあふ土間であつた。雨は漏らふが、
 ③

一
廿
四

、冬ともあれば、ストーブは赤々とたいても
 背は寒い。バケツの水に厚氷がはる。こんな
 小屋で、男手一つで自炊、洗濯をしあがり、
 長時間の重労働に耐えたのである。地主農で
 も土地の広さが済むまでは同じで、金余
 裕が出来ると制材板を買って、普通の家を建
 て、妻を旧車から呼ぶという順序であつたの
 へ。それには日本人が入る四十年前に大山火
 があり、原生林は焼けて、根の直茎は五、六
 六呎の杉、松の古株が沢山あり、その或もの

(4)

一
二
三
四
五

は爆薬を五十斤も使うやうなものである。爆薬
の買元おの人は、マテキとシヤルで根の周
りを掘り、根を伐り、掘つては伐りして大穴
を作り、小切りした根を根幹に積みかけた焼
きとるのである。この原生林の古株を掘いて
開墾する事がカナダへの大きな貢献であつた
。ヘネーだけでも日本人の開墾したものの約三
千エーカーと推定される。日本人が入植を始
めた頃のヘネーは二夜生へ変林の所所に欧州
移民が到着し、少しづつ開墾した寒村で、脊

⑤

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

は 二 五

後に二千メートルのセルカク山脈を貫き、
 前に洋々たるフレキシブル河を兒下す所、カナダ
 太平洋鉄道の無人の駅小屋があるだけ。フレ
 キシブル河には外車の河蒸気船がフレキシブル河岸の村
 村え、客や荷物を定期に運んでいるだけであ
 りた。交通、運搬は馬車、それも日本人習
 には井上氏だけが持っているだけであつた。
 その頃五哩、十哩歩くことは普通であつた。
 創業時代は、あちこちに開墾の煙の塔、火の
 柱が、暗い冬の夜の壯観であつた。政府は開

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
 NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
 Rare Books & Special Collections and University Archives
 The University of British Columbia

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

は 二 一

塾を奨励するため、荒山には高い税金をか
 け、開墾すると税金を下し、爆薬も農家には
 原価で売ってくれた。一九一二年冬、山本勝
 君が爆薬用の雷管百個入りを買って、あるよう
 所で、土間におき、その一個を抜きとり、
 導火線を短くして、^{點火試しに}六、七呎向うに投げた。そ
 れが九十九個に引火して、彼は若くして左
 眼を失った。幸ひに彼生命に別条なく宇真花
 嫁を迎えて、五人の子女を養った。その頃
 爆薬で生命を捨てた人もいた。井上氏がへそ

FOR RESEARCH PURPOSES ONLY
 NOT TO BE REPRODUCED WITHOUT PERMISSION
 Rare Books & Special Collections and University Archives
 The University of British Columbia